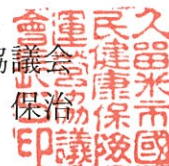




令和3年2月8日

久留米市長 大久保 勉 様

久留米市国民健康保険運営協議会  
会長 松岡 保治



令和3年度久留米市国民健康保険料率等について（答申）

令和3年1月28日付2健保第6230号をもって諮問のあった、令和3年度久留米市国民健康保険料率等については、下記のとおり答申する。

## 記

1. 医療給付費分（基礎賦課分）、後期高齢者支援金等分および介護納付金分の保険料率等については、いずれも現行どおりに据え置くものとし、賦課限度額については、国の基準とすることを了承する。

## 2. 附帯意見

新型コロナウイルス感染症の影響で経済の回復が見通せない中、被保険者に更なる負担を強いることは回避すべきである。このため、保険料率等の改定については、慎重な対応が必要である。

一方で、久留米市の国民健康保険事業特別会計は、令和2年度の単年度収支がマイナスと見込まれるなど厳しい状況にあることから、市として次のことに取り組むこと。

### （1）国民健康保険事業費納付金の上昇抑制

国民健康保険事業費納付金の上昇が国民健康保険財政に及ぼす影響は大きく、これにより保険料率等の改定に繋がることが懸念される。このような状況を踏まえて、同納付金の上昇抑制のための財政措置を国や福岡県に対して要望していくこと。併せて、新型コロナウイルス感染症の医療費への影響を反映するなど、適正な納付金の設定を福岡県に対して要望すること。

### （2）医療費適正化の推進

増大する医療費を抑制するためにも医療費分析を行い、その結果に基づき関係機関との連携を強化し、被保険者に対する早い段階からの継続的な疾病予防や重症化予防のための取り組みを積極的に進めること。

### （3）収納率向上対策の強化

歳入確保のためには、保険料収納率を高い水準で維持することが重要である。新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が想定されるが、今後においても収納率向上対策の強化に取り組むこと。

### （4）保険料水準の均一化

福岡県内の保険料水準の均一化を早期に実現するために、福岡県へ要望・働きかけを行うこと。